

## オープン3年、安定した事業実績、配食に課題

### 19名が参加してボランティア総会を開催

『食をとおした福祉コミュニティづくり』をめざして立ち上げた「ふれあい食堂 明舞ひまわり」も3年目の後半に入った5月14日、19名のボランティアスタッフが参加してボランティア総会が開かれた。

ボランティアは常時36名の登録があるものの本人の健康状態、家族の介護などで欠員を生じ、配食・調理ボランティアともに不足状況が続いていたが、新しいボランティアを迎えてようやく1日60～70食体制が整ったところである。

まず昨年度の事業報告として、垂水区から助成を受けた「垂水魅力アップ事業」で実施した10のイベントについてパワーポイントを使っての報告。続いて食堂の利用状況や配食数の推移など、ほぼ安定した営業実績の説明があり、オープン当初から実践してきた「旬の味」「昔なつかしい家庭の味」「栄養のバランス」というコンセプトが地域の高齢者に受け入れられている証であるとの思いを強く抱いた。

次いで会計報告があり、家賃・共益費、初期投資の償還、商店会関係経費などの固定費のアップと人件費のアップによって多少赤字が出たものの、昨年下半年に決定した木口ひょうご地域振興財団の助成金によって家賃などの固定費を補填できる旨の報告があった。

スタッフの話し合いでは、配食のエリアがあまりにも広いこと、配達中の駐車場に関して新たな路上駐車取り締まりの規制強化問題などに議論が集中した。



3月の離乳食講習会

食をとおした  
福祉コミュニティづくり

## 浸透した異世代交流による「ふれあい活動」

垂水魅力アップ事業報告会で発表

垂水区の「魅力アップ事業活動」助成団体の報告会が4月29日垂水区役所で開かれ、12団体の活動が報告された。明舞ひまわりも入江一恵代表がパワーポイントを使って、助成を受けた2005年度の7つのイベントについて活動状況と地域にもたらした効果を報告した。

内 容	と き	場 所
おばあちゃんとクッキング	9月18日	まちづくり広場
高齢者の食べ物と栄養展 パート2	11月16～20日	まちづくり広場
伝えたい日本の料理 むかごお正月料理講習	12月17日	ひまわり食堂
なつかしい食卓をみんなで伝えよう 講演会	2月19日	まちづくり広場
もっと手軽に楽しい離乳食	3月5日	まちづくり広場
伝えたい日本の料理 野草採取	3月25日	西区樋谷
伝えたい日本の料理 野草料理講習	3月26日	ひまわり食堂

# 明舞ひまわり「食」のサービス

＜野菜・定食・配食＞

## 三者三様、お客様の顔

「明舞ひまわり」では現在、3つの事業をおこなっている。野菜の販売、食堂での定食とコーヒー・紅茶の提供、昼と夜のお弁当の配達です。

ここで接するお客様は三者三様で、それぞれ興味深い。当然のことながら「ひまわりの野菜」のファンは、健康志向の「食」にこだわっている人。野菜の料理法についての質問も多い。野菜のおいしさ、本物の味がわかる人、家族のためにおいしい安全な食事をつくる意欲の持ち主などだ。

食堂に来られる人は、ほとんどが固定客。独り暮らしの方、糖尿病、腎臓病などなんらかのリスクを抱えながらも、体にやさしい食事や栄養のバランスを求めている人たちだ。かつては家族のためにおいしい料理を作ったけれど、いまは作るのが億劫。散歩がてら、ひまわりに通ってくるのが日課の人も多い。

では、お弁当の配達を待っている人たちはどうか。認知症で独り暮らしの人、老夫婦とも寝たきりで、入退院を繰り返している方たちは、ほとんどヘルパーの介護が入っている。食事の介助をすませてからヘルパーが帰るといふケースも少なくない。配食をはじめた当初はボランティアのロコミによる紹介が多かったが、最近はヘルパーステーションやケアマネージャーからの紹介が増えている。この人たちも「旬の味」「美味しいものを食べたい」という願いをしっかりとっており、こんなお便りも寄せられている。

「おかずが軟らかいものばかりで、年寄りには食べやすく助かっています。毎日風呂敷が変わるのも楽しみです」(松が丘1丁目、T・Jさん)

「独り暮らしの生活では、なかなかバランスのとれた食事ができないので、いろいろ珍しい美味しいものをありがとう」(西舞子、T・Tさん)

「今日の芹(セリ) ごはんは120%美味しく、ツクシの佃煮もなつかしくいただきました。80歳代のころには、私と妹だけが知っている太山寺のツクシのある辺りに、毎年採りに行きました。なつかしい味をありがとう」(天文町、I・Tさん)



＜ひまわりのお弁当出発前、大急ぎの盛り付け＞↑

### ボランティアの言葉……

#### 心を届ける

お弁当を包む風呂敷の結び目にもチェックが入って、いよいよ配食係りの出番。エンジンキーを回す前にひと息深呼吸をする。大忙しのお弁当づくりのひまわりの空気をひとまず振り払って、「安全運転！ 無事に配り終われますように」と声に出す。これが毎回の私のスタートの様子だ。緊張するのに続けているのは、お弁当が心遣いのいっぱい詰まったものだからであろう。栄養のバランスは？ 味は？ 食べやすさは？ 量は？ 安全性は？ 見た目の美しさは？ 等々。私自身は、ここ明舞ひまわりで食に対する心構えをたくさん学んでいる。

(配食ボランティア・末本やすみ)